



誰のために、何のために、
働くあなたのために

<https://www.johas.go.jp/>



機構本部周辺の地図は
携帯端末からもご覧になれます。

お問い合わせ先

独立行政法人 **労働者健康安全機構**

〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号

総務部 人事課 採用担当

E-mail : saiyo@honbu.johas.go.jp

TEL. **044-431-8611**

FAX. **044-411-5506**

事務職員採用案内

— 労災病院グループ —

独立行政法人 **労働者健康安全機構**

Japan Organization of Occupational Health and Safety



この国を 「はたらく人」から 元気にする

労働者健康安全機構は、過労死関連疾患、アスベスト、メンタルヘルス、せき髄損傷、産業中毒など、勤労者の職業生活を脅かす疾病や事業場における災害に関して、働く人の視点に立って被災労働者などが早期に職場復帰し、疾病の治療と職業生活の両立が可能となるような支援を推進し、職業性疾病について臨床で得られた知見を活用しつつ、総合的な調査・研究、その成果の普及を行うことにより労働者の健康及び安全の確保を図るほか、未払賃金の立替払事業などを行い、もって労働者の福祉の増進に寄与しています。

《労働者健康安全機構とは》

独立行政法人労働者健康安全機構は、「独立行政法人労働者健康安全機構法（平成27年5月7日法律第17号）」に基づいて設立された、厚生労働省所管の独立行政法人です。当機構は、勤労者医療の推進、労働安全衛生分野の調査・研究、働く人々の福祉事業を通じて、労働者の健康と安全の確保、福祉の増進に寄与しています。



理事長 挨拶

私たち独立行政法人労働者健康安全機構は厚生労働省所管の法人で、働く人々の健康を守り、病気を治療し、職場復帰を推進するための活動や研究を行っています。
また、職業性疾病について臨床で得られた知見を活かし、疾病の治療と職業生活の両立が可能となるような支援を推進しています。
その他、職場の安全と衛生を保ち、その向上を推進していくための産業保健活動を通じて、産業医をはじめとする地域の産業保健関係者への支援サービス向上を図り、結果として職場で働く人々の健康を守ることに貢献しています。

全国に配置されている労災病院、治療就労両立支援センター、労働安全衛生総合研究所や産業保健総合支援センターなどがこれらの活動の拠点となっています。

このような活動は、人々の仕事へのやりがいや仕事への情熱を支え、働く人々の人生を豊かにするもので、社会貢献のとても高い活動と自負しております。

その意味で私たちは、毎日、大きな誇りをもって働いています。
ぜひ、私たちと共に働きましょう。

独立行政法人 労働者健康安全機構
理事長 有賀 徹



《病院における事務職の役割》

「時代のニーズに合わせて組織の舵取りをする」
日進月歩で変化していく医療や国の施策に対し、当機構は、継続して勤労者や地域に医療を提供していかなければなりません。事務職は、社会情勢や政策に関する知識や理解を深め、ニーズの変化に各施設の機能を対応させる。他の職種の業務へ理解や関心を寄せ、職員が効果的に働けるように調整する。様々な経営等に関するデータを収集・分析し、限られた資源(ヒト・モノ・カネ)を活かすといった役割を担い、経営のマインドを持って、様々な業務を進めています。



総務

「病院で働く職員を支える」

人事・給与・福利厚生・広報・各業務の調整・文書管理・施設営繕

会計

「病院の財産を管理」

予算・決算・契約・資産管理・出納・物品検収

医事

「病院の収益増に貢献」

患者対応（受付、事務手続、相談）・診療報酬の算定、請求
診療記録の管理

経営企画

「病院経営をマネジメント」

経営戦略の企画立案・経営改善計画の実施及び指導
医療事情の収集、分析、提供



事業内容



病院だけではないJOHASの取り組み

治療就労両立支援センター

『がん』などの病気と診断され、「治療しながら仕事を続けると会社に迷惑をかけるかもしれない。なかなか休めない」と辞職する方は少なくありません。センターでは、仕事を辞めずに治療と両立ができるよう無料相談窓口の設置による個別支援、医療機関向けマニュアルの作成・普及等を行っています。(両立支援)

また、生活習慣病予防のため、健診結果等に基づき、医師・保健師・管理栄養士・理学療法士の専門スタッフが個別指導を行い、健康を支えます。また、講演会や研修会の開催のほか、個別指導を通じて収集した事例を分析し、予防・指導法の開発にも取り組んでいます。(予防医療)



全国組織図

本部

- 労災病院(分院含む29ヶ所)
- 医療リハビリテーションセンター
- 総合せき損センター
- 北海道せき損センター
- 看護専門学校(9ヶ所)
- 治療就労両立支援センター(9ヶ所)
- 労災疾病研究センター
- 産業保健総合支援センター(47ヶ所)
- 労働安全衛生総合研究所(2ヶ所)
- 日本バイオアッセイ研究センター
- 高尾みころも霊堂

詳しくはP9施設所在地へ

産業保健総合支援センター

働く人の心とからだの健康をサポートするため、ホームページ、情報誌や図書の貸出し等を通じ、広報啓発を行うほか、産業医学、労働衛生工学、メンタルヘルス、労働関係法令等の専門スタッフが産業保健に係る研修や相談に対応しています。また、メンタルヘルス対策に精通した専門スタッフが事業場に赴き、ストレスチェック制度の導入など職場のメンタルヘルス対策推進の支援も行います。

さらには、治療と仕事の両立に向けて、産業カウンセラー、社労士等の専門スタッフが事業場を訪問し、両立支援制度の導入、患者(労働者)と企業間の個別調整支援などを進めています。



労働安全衛生総合研究所・日本バイオアッセイ研究センター

働く人の事故、病気の防止や減少に貢献する研究を実施しています。労働安全衛生総合研究所では、理学、工学、医学、健康科学等様々な観点から総合的・専門的な調査及び研究を行っています。

調査、研究の成果は、行政の施策立案や構造規格、技術基準等の策定作業に貢献しています。

また、各事業場の安全衛生の確保に役立てるために積極的に情報提供、広報活動を進めています。

日本バイオアッセイ研究センターでは、既存の化学物質の有害性、特に発がん性調査を実施するために、また、事業者の行う有害性の調査を支援するために国が設置し、その運営を平成28年より当機構で行っています。



平成29年
入職



仕事内容
と
やりがい

当機構への
入職理由

正確な請求業務で病院を支える！

医事課の業務は、窓口業務からレセプト（診療報酬明細書）請求業務までと多岐に渡ります。特に、レセプト請求業務は、病院の収入にも関わるため、非常にやりがいを感じています。カルテとレセプトを確認し、「医師が行った診療行為が正確にレセプトに反映されているか、漏れはないか？」を考え、正確な請求が出来るよう心掛けています。1つ間違えれば病院全体に影響するため常に緊張感がありますが、何百万、何千万円に渡る請求を毎月行うことは達成感もあります。

営利目的の企業ではなく、社会貢献ができる独立行政法人等に絞って就職活動をしていました。そのような中、医療分野から社会を支える当機構に出会えました。事務職として医療従事者を支えることで、勤労者をはじめとする患者さらには地域社会を支えることにつながり、社会貢献の一助となることに魅力を感じました。また、自分の家族が病気により仕事の継続が困難となったことがあり、勤労者医療を掲げる機構に興味があったのも、入職理由の1つです。

旭労災病院 医事課 医事係 **土屋 里紗** 神奈川県出身・海洋科学技術研究所

◎ 1日の仕事の流れ

- 8:15 始業 再来受付機の案内、患者対応
- 9:00 窓口での書類受付業務／医師への書類依頼 院内外の電話対応
- 12:15 昼食
- 13:00 午前業務の続き
- 14:00 病棟回診の医師補助業務（報告書の代行入力等）
- 15:30 労災患者の保険登録、申請書類の案内、レセプト点検
- 17:00 終業

毎日やるのが沢山あって、それを乗り越えるだけで精一杯の状態かもしれませんが、根を詰めすぎて身体を壊してしまえば元も子もないので、「今日は1日何もしない日！」を作って、友達とご飯を食べたり、ゆっくり家で休んだりすることも大切だと思います。そうした健康管理・自己管理は社会人になってから重要となります。大変な時期を乗り越えて、一回り成長した皆さんと一緒に働くことが出来ることを、楽しみにしています。



平成31年
入職



仕事内容
と
やりがい

当機構への
入職理由

人事面から機構全体の経営を支える！

本部人事課での私の仕事は、当機構で働いている職員数を集計する繊細な仕事から、労災病院における各職種配置人数を決定する重要な会議に出席する大きな仕事まで、幅広く行っています。その他にも医師や看護師を含む職員の採用から退職等に関する事務処理など、採用1年目にもかかわらず、責任の大きな仕事を経験させていただいています。これらの仕事を円滑に進め、達成した時に大きなやりがいを感じます。

私は大学で医療系の勉強をしており、地域の方々に健康というサービスを提供できる「病院」で働きたいと思い就職活動を行っていました。その中で当機構を選んだのは、全国規模で病院を運営しており、スケールの大きな仕事を経験できると感じたからです。また、勤労者を支え、日本国の経済の発展に寄与するという大きな使命を担っている点やキャリアアップのイメージがしやすいという点にも魅力を感じたからです。

本部 人事課 人事班 **高橋 勇気** 群馬県出身・健康福祉学部

◎ 1日の仕事の流れ

- 9:00 始業、メールの確認
- 9:15 人員データ取りまとめ
- 10:00 人事業務（採用、退職等に関する事務処理）
- 12:00 昼食
- 13:00 各施設からの問合せ対応 人事データ点検作業 人事資料作成
- 17:00 課内庶務業務
- 18:00 終業

就職活動は自分自身を見つめ直す良い機会だと思います。学生時代はたくさんの時間があると思うので、自分自身はどのような人でどのような事を実現したいのかをじっくり考えてみてください。就職活動を行っている中で思うように進まず、悩むこともあるかもしれませんが、それでも自分自身の軸を持ち、根気強くチャレンジし続けることで結果に繋がると信じています。たまには息抜きも大切にしてください。皆様と一緒に働けるのを心待ちにしております。



平成25年
入職



仕事内容
と
やりがい

当機構への
入職理由

自分の長所が活かせる仕事！

主に施設基準の管理の仕事をしています。施設基準とは「病院の人員や設備などの体制を評価する基準」のことで、各基準に定められた要件をクリアしているかを毎月チェックしています。要件は単純なものだけでなく、非常に複雑なものもあり、他部署と密にコミュニケーションを取り、病院の体制を正確に把握することが求められます。基準によっては収入に大きな影響を与えることもあり、戦略的な基準取得の企画立案は、病院経営の貢献に直結するもので、とても緊張感のある仕事ですが、同じくらいやりがいも感じられる仕事です。

「親しみやすさ」と「勤勉さ」が自分の長所だと思いましたので、その長所を活かせる仕事を重視し、企業選びを行いました。その中で、当機構の就職説明会などを通じ、仕事の内容が、医師や看護師といった職員や患者さんなど「人」と接する機会が多いこと、また診療報酬や医療法をはじめ、様々な法令や社会情勢など、常に新しい知識を学ぶことが求められる仕事であることを知り、自分の長所を最大限に活かせる組織だと感じ、入職を決めました。

関西労災病院 経営企画課 **岸上 逸哉** 大阪府出身・法学部

◎ 1日の仕事の流れ

- 8:15 始業 メールの確認
- 9:00 電話対応
- 10:00 会議資料の作成 業者との打ち合わせ
- 12:15 昼食
- 13:00 施設基準届出書類の作成 他部署との打ち合わせ
- 16:00 委員会出席
- 17:00 終業

就職活動は思うように結果が出ず、不安なことも多々ありましたが、今振り返ると、これまでの自分の性格や長所、短所といった特徴を振り返り、今後の人生をどうしたいかを考える非常に良い機会でした。その結果、私の場合は「自分の長所を活かせる仕事」に重点を置き、就職活動に取り組みました。私の経験が、何を基準に仕事を選べばよいか悩まれている方の参考となれば幸いです。いつか皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



平成27年
入職



仕事内容
と
やりがい

当機構への
入職理由

困ったら総務課へ！みんなが働きやすい病院を目指します！

主に職員の給与計算や社会保険、院内行事の運営などを担当しています。患者さんに接する機会は少ないのですが、病院職員を後ろから支える縁の下の力持ち的な存在です。職員が働きやすい病院こそ患者さんが通いやすい病院になると信じて日々仕事をしています。職員の悩みや疑問に答えて「ありがとう」「あなたに聞いてよかった」と言われるのはとても嬉しいです。

学生の頃から社会福祉や医療業界に興味がありました。そんな状況で当機構の採用者説明会に参加した際、「国でも一般企業でもやらないことをやるのが独立行政法人」という言葉を聞いて強く興味を持ちました。さらに社会貢献度が高く、当時から社会問題になっていた病気と就労の両立に積極的に取り組んでいる組織ということもとても魅力を感じ、自分も社会の役に立ちたいと当機構への入職を決めました。

関東労災病院 総務課 給与係 **金子 結** 千葉県出身・人間科学部

◎ 1日の仕事の流れ

- 8:15 始業 メールの確認
- 9:30 外出 ハローワークへ（雇用保険手続き）
- 11:00 帰院 電話対応等
- 12:15 昼食
- 13:00 職員の出勤簿等の確認
- 15:00 退職者や採用者の案内（対面）
- 16:00 翌日の準備、残務処理
- 17:00 終業（30分程度窓口対応をすることも）

今、皆さんはどんなことに悩んでるでしょうか？私も就職活動をしている時、新人の時、そして今も皆さんのことに悩んで不安を感じてきました。悩みや不安を感じるのは大切なことです。なので、マイナス思考になったときも落ち込まず不安を見つけた自分を褒めて、解決策を考えてみてください。そうして「怖いな、でもやらなきゃ」と思っているうちに1年後の皆さんは大きく成長しています。成長した皆さんに会えるのを楽しみにしています！



平成27年
入職



仕事内容
と
やりがい

当機構への
入職理由

30円の文房具から1億円の医療機器まで！

契約係は病院で実施する全ての買い物に関わることが主な仕事です。また、収支状況報告書、予算資料の作成も重要な仕事となります。幅広い物品を取り扱うため、時には主婦の目線で、時には院長の目線で、確かな根拠をもとに適正価格を見極めることが契約係の腕の見せ所になります。適正価格の資料を作成することは地道で頭を悩ませることもありますが、予算よりも安い金額で契約ができたときはやりがいを感じます。

機構を選んだ理由はDMAT（災害派遣医療チーム）になりたかったからです。私は在学中、NPOのボランティア団体に所属していました。救援活動の現場で感じたことは、助かった人のために支援をする人は沢山いるけれど、その一歩前、助ける側にいる人は圧倒的に数が少ないということでした。だから、自分の足が動くうちは現場で力になりたい。その思いを叶えられる機会が機構にあったため、入職を決めました。（多くの方に支えられ、5年目にして夢は叶いました。）

香川労災病院 会計課 契約係

中川 絵里

滋賀県出身・経済学部

◎ 1日の仕事の流れ

- 8:15 始業 決議書作成
- 10:00 入札書類作成
- 12:15 昼食
- 13:00 電話対応・委員会資料作成
- 15:00 開札
業者打ち合わせ
- 16:00 委員会出席（書記）
- 17:00 終業

就職活動中は、誰のために働くのか、自分の強みは何か等、大きいテーマを考える機会が増えると思います。入職理由をご覧のとおり、私がそうでした。目指すものや働く目的を持つことは大切ですが、もっとシンプルに自分の生活を中心に考えてもよかったです。たまに弱気になることが正直あります。容赦なく古い体質の会社が淘汰され、衰退し、働き方改革が謳われている令和の時代。皆さんが自分の働き方に合った職場に出会えることを祈るとともに、それが機構であればお会いできる日を楽しみにしています！



平成20年
入職



仕事内容
と
やりがい

当機構への
入職理由

医事課職員と医療従事者間の潤滑油として！

私の仕事は外来医事・地域医療連携業務で、医事課職員と医療従事者との仕事がスムーズに行えるよう調整・立案したり、地域医療機関との勉強会や講演依頼、院内研修の広報などを行っています。また健診業務も担っており、人間ドック受診者数を増やすため医療従事者と協議し、新たな項目を追加することなども行っています。日々、職員目線だけでなく患者目線でも物事をとらえ、収入につながっていくよう仕事に取り組んでいます。

大学では経済を専攻しており、医療や福祉関係についての分野を勉強していたわけではなく、この分野への関心は高いものではありませんでしたが、病院は身近な存在で接する機会が多かったことから、どのような仕事をこれからしていきたいか具体的に与えられることができたこと、医療資格がなくても医療に携わることができる事務職に魅力を感じたことから入職を決めました。

和歌山労災病院 医事課 外来係長

平 健太郎

和歌山県出身・経済学部

◎ 略歴

- 平成20年 入職
- 香川労災病院会計課会計係
- 平成24年 山口労災病院医事課企画係
- 平成26年 燕労災病院会計課契約係
- 平成29年 和歌山労災病院会計課契約係
- 平成31年 " 医事課外来係長
地域医療連携係長(兼務)

明確な目標を持って就職活動している方も漠然と就職活動している方も、スタートラインとゴールラインは同じです。ただ、そこにどれだけ熱量を持って挑むかで変わってきます。不安だらけの就職活動に挑んでいる自分を褒め、プレッシャーに打ち勝つ自信を持って進んでください。このことは社会に出てからも同じです。皆さんの就職活動が納得いくものとなり、社会人として活躍されることを願います。



平成12年
入職



仕事内容
と
やりがい

当機構への
入職理由

仕事と子育ての両立！

産業保健総合支援センターは働く人の健康をバックアップしています。具体的には、企業の中で社員の健康管理に携わっている産業保健スタッフ（産業医・保健師・衛生管理者etc）をサポートするために、研修会の開催、相談対応、訪問支援などを行っています。それらのサービスは専門家が担いますが、受付対応等は事務職が行いますので、実際に企業の産業保健スタッフの方々と直接コミュニケーションしていく中で適切な対応ができ、感謝されたときはやりがいを感じます。

私は就職氷河期世代（2000年入職）です。当時の私には企業を選ぶ選択肢はありませんでした。こんな時代だから非営利企業で仕事をしたいと考えました。現在、2人の子供がいますが、子供の体調不良には看護休暇を、保育所・学校行事には有給休暇を取得し、上司や同僚の温かいサポートを得ながら、子育てと仕事を両立しています。

東京産業保健総合支援センター

業務課 業務係長 菅原 由紀子

埼玉県出身・文学部

◎ 略歴

- 平成12年 入職 中部労災病院会計課会計係・契約係
- 平成15年 東北労災病院会計課契約係
- " 医事課地域医療連携室
- 平成18年 産業医学振興財団へ出向
- 平成20年 埼玉産業保健総合支援センター業務課
- 平成23年 第1子出産 産休及び育休取得
- 平成25年 第2子出産 産休及び育休取得
- 平成26年 東京産業保健総合支援センター業務課
- 平成30年 " 業務係長

就職活動中は何を基準に企業を選ぶべきか悩むことも多いと思います。働く人の健康管理をサポートする仕事に携わる今、社員の健康（からだ・こころ）をどれだけ重要視しているかも、大事な基準のひとつだと思います。心身ともに健康ならば、ワークもライフも楽しむことができます。皆さんの社会人生活がワークライフバランスの充実したものであることを願っております。



平成19年
入職



仕事内容
と
やりがい

当機構への
入職理由

病院の未来を切り開く!!

医事課では、患者さんに対する診察の受付や保険証の確認、医師による診察後に医療費の計算を行います。待ち時間の長さや職員の態度等について、患者さんからの厳しい意見に耳を傾けなければいけない辛い場面もありますし、逆に感謝の言葉をいただくこともとても多く「雨のち晴れ」のようなことが日々起こる部署です。また、統計情報や診療報酬の知識を活用して、病院の現状や課題、方向性を示すなど、病院経営に関する取組みも必要となることから、自分の意見が反映された時にやりがいを感じます。

父親が病気を理由に早期退職したこともあり、医療業界に興味を持つ中で当機構の役割として、ただ病気を治す一般的な病院ではなく、勤労者の疾病予防に関する研究や就労支援の実施、企業に対して労働者が健康で安心して働ける職場づくりの支援を行っており、社会的役割が非常に大きくやりがいのある仕事だと感じました。また、就職氷河期直後という状況下において自分が一生働ける会社として勤務条件面（福利厚生、休暇取得等）での安心感もあったことから機構を選びました。

東北労災病院 医事課長

前田 和宏

埼玉県出身・経済学部

◎ 略歴

- 平成19年 入職 岡山労災病院医事課医事係
- 平成20年 岡山労災病院会計課契約係
- 平成22年 九州労災病院用度課用度係
- 平成24年 " 会計課契約係
- 平成25年 本部総務部人事課人事班
- 平成27年 " 経理部契約課契約班
- 平成28年 " 経理部予算課予算班
- 平成30年 " 経理部予算課予算班主査
- 平成31年 東北労災病院医事課長

当機構を受けるにあたっての不安要素は「転勤」ではないかと思っています。はじめての社会人、はじめての場所での一人暮らし、知り合いが誰もいない状況の中でうまくやっていけるのかと考えている方も多いかと思いますが、業務を的確に教えてくれる先輩、ちゃんと栄養取ってる？と健康を心配してくれる先輩、ボーリングやゴルフ等に誘ってくれる先輩がいます。先輩たちの多くが施設異動を経験しているからこそ、施設異動者にやさしい環境を築いてくれます。就活生のみならず、安心して当機構を選んでいただくと嬉しです。



人事方針

施設間異動を通じた多様な実務経験により、幅広い視野を持った人材の育成に努めています。

目指すキャリアに向けて、コース別制度を導入しています。

●コース別制度

総合職	将来の幹部候補を育成する全国転勤型の職制です。原則採用後1年間は本部に配属され、2年目以降は病院へ異動し、複数の施設で経験を積んでいただきます。
一般職	当機構の中核業務である労災病院の基幹職候補を育成する地域固定型の職制です。様々な部署で経験を積み、病院経営のスペシャリストとしてご活躍いただけます。採用地域ブロック内での異動があります。地域ブロックについては、下記を参照してください。 【医事業務育成枠】(若干名) 医事業務に精通した専門性の高い医療人材を育成する職制です。多様な診療機能を有する規模の大きな病院に配属され、採用から数年間は医事業務を中心に経験を積んでいただきます。将来的には、専門性を活かして経営に携わっていただくため、院内の他部署や他の病院への異動があります。

●地域ブロック

1 北海道・東北・関東地区

北海道中央労災病院/北海道せき損センター/釧路労災病院/青森労災病院/東北労災病院/秋田労災病院/福島労災病院/千葉労災病院/東京労災病院/関東労災病院/横浜労災病院/機構本部

2 北海道・東北地区

北海道中央労災病院/北海道せき損センター/釧路労災病院/青森労災病院/東北労災病院/秋田労災病院/福島労災病院

3 東海・北陸地区

新潟労災病院/富山労災病院/浜松労災病院/中部労災病院/旭労災病院

4 近畿地区

大阪労災病院/関西労災病院/神戸労災病院/和歌山労災病院

5 中国・四国地区

山陰労災病院/岡山労災病院/吉備高原医療リハビリテーションセンター/中国労災病院/香川労災病院/愛媛労災病院

6 九州地区

山口労災病院/九州労災病院/九州労災病院門司メディカルセンター/総合せき損センター/長崎労災病院/熊本労災病院

※病院の他に各都道府県ごとに設置されている産業保健総合支援センターや労働安全衛生総合研究所などの施設勤務となる場合もあります。

●施設所在地



関西労災病院



中部労災病院

求める人材像

時代のニーズに合わせて組織運営のあり方を創造する、多岐にわたる業務が事務職の魅力。

現場では共に働く人や患者さんなどの対話、交流が欠かせません。

- 様々な課題を相手の立場になって一緒に考え、満足と納得を得ながら仕事を進めることができる人
- 使命感と誇りを持った組織運営のプロフェッショナルを目指す人

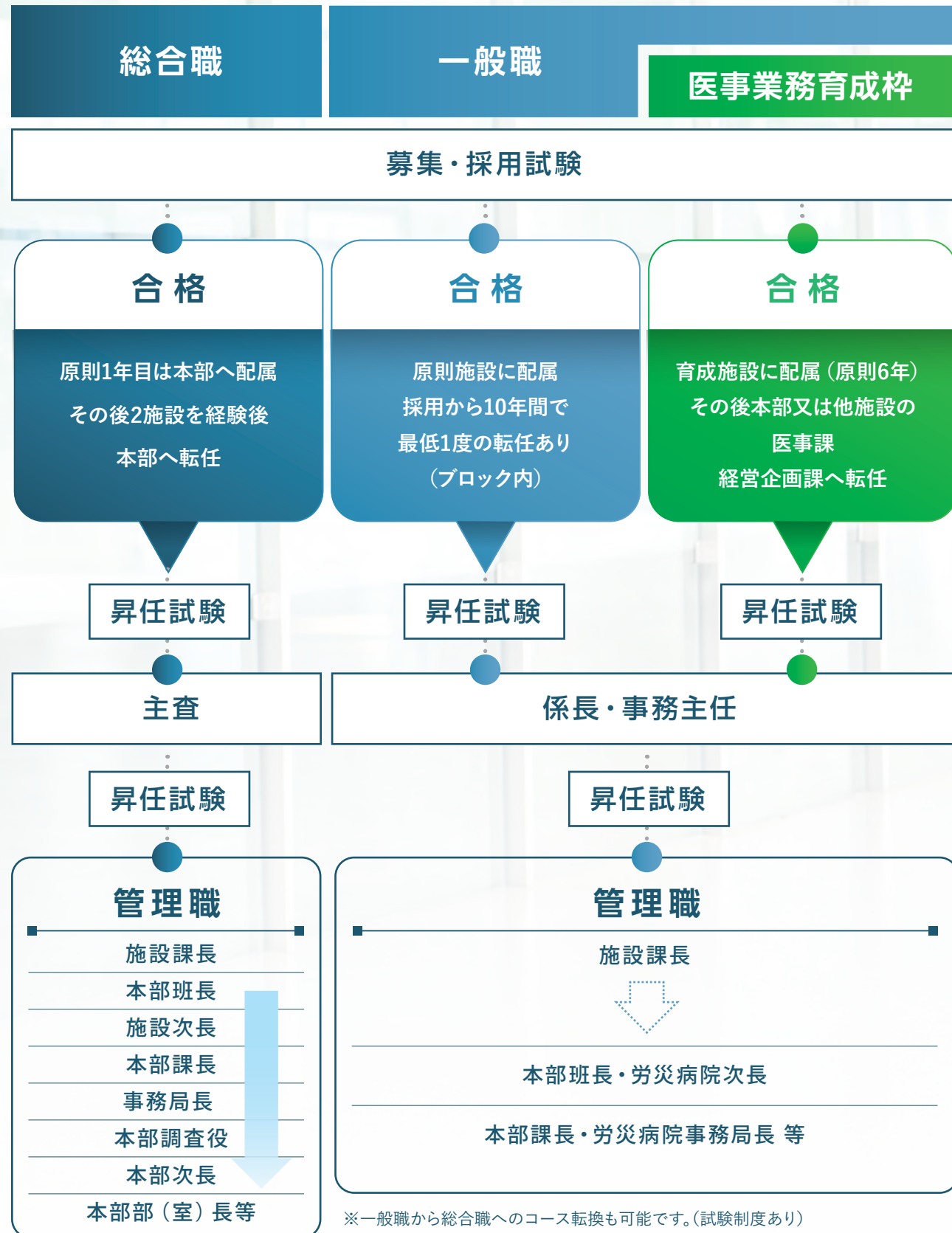
をお待ちしています。

●勤務条件・福利厚生等

初任給・諸手当	<p>基本給 総合職………174,100円 一般職………162,900円 ※勤務地に応じて、基本給の最大12%を地域手当として支給します。 ※基本給は学歴や職歴に応じて加算される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 期末・勤勉手当あり ■ 昇給あり(年1回) ■ 退職金制度あり ■ 支給要件に該当する方には、時間外勤務手当、通勤手当、扶養手当、住居手当(28,000円/月上限)等の諸手当があります。
勤務時間等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 原則午前8:15から午後5:00まで(病院の場合) ■ 週休2日制(※土・日・祝・年末年始・創立記念日/※病院により夜間・休日等に日当直業務等あり) ■ 年次有給休暇20日 ■ 特別休暇(夏季、結婚、忌引休暇等) ■ 育児(介護)休業、育児(介護)短時間、子の看護休暇等
勤務地	<ul style="list-style-type: none"> ■ 総合職…原則本部(初年度)、全国の労災病院等(次年度以降) ■ 一般職…採用ブロック内の労災病院等 ※転居を伴う異動もあります。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定期健康診断、各種健康講座 ■ 各種年金制度(確定給付年金、確定拠出年金) ■ 健康保険(組合健保) ■ 財形貯蓄制度等 ■ 宿舎 職員宿舎の有無は配属される施設によって異なります。

★お問い合わせ先は裏表紙に掲載しています。

コース別キャリアパス



研修制度 キャリアアップを支えます



ワークライフバランス



① 勤務時間

原則病院の場合、午前8時15分～午後5時の勤務で、週休2日制（土日祝）です。病院によって宿日直業務があります。

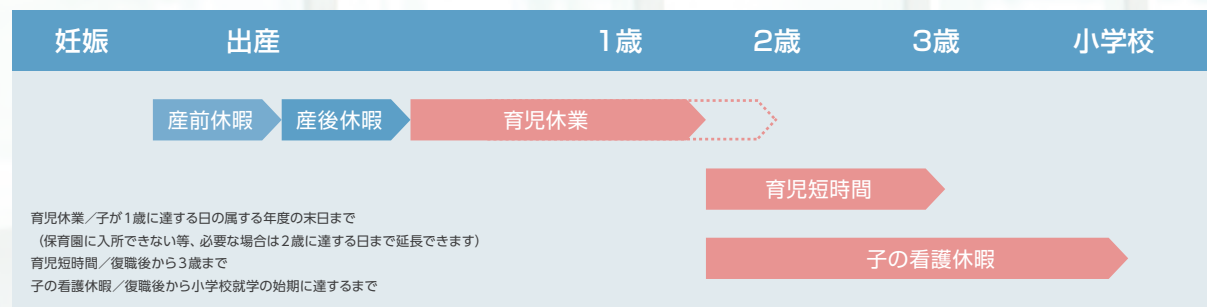
② 福利厚生

各種社会保険の完備、健康診断はもちろん、その他住居手当や扶養手当などの各種手当があります。

③ 休暇について

年次有給休暇は20日あり、年20日まで翌年度に繰越可能です。その他夏季休暇が5日あります！

育児に関する制度と利用期間



先輩の声



関東労災病院 亀田 百恵さん

出産後、約1年半の育児休業を経て職場復帰し、復帰後1年は育児短時間を取得させていただきました。朝は通常どおり出勤し、退勤を1時間早めるかたちになりました。他の職員より早く帰ることにに対して申し訳ない気持ちが強くなりましたが、慣れない仕事と育児の両立に少し余裕を持つことができ、子どもと過ごす時間を大事にできたため、制度を活用してよかったと考えています。また、限られた時間で業務を終わらせなければならないため、以前より優先順位やタイムマネジメントを強く意識して仕事に取り組むようになったと感じています。

仕事と育児の両立は実際には大変な面も多く、急な子どもの体調不良により仕事を休んだり、保育園から呼び出しが掛かることもあり、復帰当初は月に1～2回程度、子どものことで仕事を休まなければいけない状況でした。その日予定していた仕事を急遽、他の職員にお願いしなければいけない場面もあり、心苦しい思いをすることもありました。上司や同僚から責められたことは一度もなく、むしろ温かい言葉や配慮をいただき、本当に感謝しています。

職場復帰以前は、育児をしながら仕事を続けていくことに不安を多く抱えていましたが、今は、職場の方々の理解や優しさに助けられ、仕事と育児のバランスを保ちつつ、楽しく働くことができています。

Q & A よくある質問



Q.1

医療の知識は必要ですか？

A.1

医療現場で働く事務職員としての専門的な知識については、研修制度もあり、採用された後での習得が可能です。新聞を読み、医療関係の動向に気を配っておくと理解しやすくなります。

Q.2

どんな資格・スキルが役に立ちますか？

A.2

医療事務の資格は無料で入職後に研修、受験できます。役に立つスキルはパソコン操作関係があげられますが、内定者通信研修にて無料で学習できます。

Q.3

宿舎はありますか？

A.3

各施設に職員宿舎があります。利用状況により満室で用意できない場合もあります。

Q.4

労災病院と一般病院の違いは何ですか？

A.4

診療を行う上での違いはありません。労災病院は独立行政法人として職業性疾病の診療や研究を行うなど、診療以外に政策医療を行っている点が一般病院との大きな違いです。

Q.5

異動について希望は反映されますか？

A.5

毎年、本人の希望を確認しています。本人の希望に加え、適性やキャリアアップなどの事情も総合的に勘案して異動が行われます。

Q.6

転勤の頻度について教えてください。

A.6

総合職は、原則1年目は本部配属。2年目から約3年ずつ2施設経験します。その後本部へ配属となり、管理職となるタイミングで施設勤務となります。一般職は、10年間の間に採用ブロックの中で最低1回の転勤があります。異動の時期、回数はそれぞれの状況等により異なります。
(→P11コース別キャリアパス)

Q.7

職場はどんな雰囲気ですか？

A.7

病院は多くの患者さんが来院されるため、厳しい場面もありますが、病院運営はチームワークが重要になるため、職員同士の連携が取れたコミュニケーションの良い職場です。事務職以外の各部門、各職種と関わることも多く、幅広い人間関係を築くことができます！